

台風15号

市内を襲った記録的暴風雨

9月9日未明に千葉県を通過し、市内に大きな爪痕を残した台風15号。本市での最大風速は45・8メートルとなり、平成25年10月に猛威を振るった台風26号の最大風速23・5メートルを大幅に超える数値が観測されました。

記録的暴風雨となった台風15号は、倒木による交通網の遮断や電線の切断、家屋の損壊など、市内各地に甚大な被害を及ぼしました。その影響で停電や断水が発生し、やむなく避難所で不安な夜を過ごす人々の姿も。9月20日現在、いまだに一部の地域では復旧作業が続いています。市では、今後も被害状況の把握と被災者支援について対応してまいります。



①折れた電柱が被害の大きさを物語る②多数の倒木が発生し、業者が復旧を急いだ③対応策が検討される災害対策本部会議④福島県南相馬市から救援物資が届けられる⑤災害対応に駆け付ける自衛隊⑥各施設では給水車による給水が行われる⑦職員からの報告を聞く小泉市長⑧大木が電柱を巻き込んで倒れる⑨ブロック塀が倒れる被害も⑩停電により各地の信号が消える状況に

